

事業番号	05 02 17	事業改善シート（28年度実施事業分）				<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	災害医療体制整備事業					担当課	部局	健康福祉部	
							課・局・室	医療推進課	
							E-mail	iryo@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画	プロジェクト						実施期間	H20 ～	
	施策の総合的展開	6-1 健康で長生きできる地域づくり 4 医療施策の充実							
人口定着・確かな暮らし実現総合戦略	信州創生の基本方針								
	施策展開								

1 事業の概要

目指す姿	災害時の医療機関の連携体制や、災害急性期の医療提供体制を確保する。					
現状 (予算編成時)	「災害時における医療体制の充実強化について」(厚生労働省医政局長通知)の内容に沿って、引き続き災害拠点病院の体制整備、DMAT養成、災害医療研修等体制整備に取り組む必要がある。					
県が関与する理由	県関与の必要性あり		【左記の説明、根拠法令等】 ・ 第6次長野県保健医療計画、災害医療対策事業実施要綱、日本DMAT活動要領、長野県DMAT設置運営要綱			
	県民との協働による実施：実施は困難					
成果目標・事業内容	① 成果目標(H28)					
	<div>・ 災害医療研修会の参加者数 : 120名</div> <div>・ 中部ブロックDMAT実動訓練の開催 : 1回</div> <div>・ 長野県DMAT登録者数 : 320名</div>					
	② 事業内容 (単位:千円)					
	項目	実施方法	H28事業実績	H28		H29
				(当初)	(決算)	(当初)
	災害・救急医療体制検討協議会等の開催・運営	直接	災害・救急医療体制検討協議会、災害拠点病院連絡協議会、DMAT分科会等を開催	2,112	739	2,227
	災害医療研修会の実施	委託	災害医療について広報啓発を実施 (委託先 長野赤十字病院)	249	249	249
	県DMAT隊員養成研修の実施	委託	災害時に長野県DMATとして活動する者を養成 (委託先 長野赤十字病院)	270	270	270
	各種訓練への参加	補助金・交付金	政府主催総合防災訓練へ参加する者に対して経費を補助	1,080	766	1,728
	DMAT活動保険料	直接	DMAT傷害保険への加入	884	30	884
	災害時通信体制の整備	直接	衛星携帯電話による災害時通信体制の構築	893	893	968
	中部ブロックDMAT実動訓練の検討・準備	直接	訓練準備のための委員会設置及び会議の開催、DMAT調整本部訓練の実施	1,814	1,371	0
中部ブロックDMAT実動訓練の開催	直接	中部ブロックDMAT実動訓練の開催	2,411	2,402	0	
		合計	9,713	6,720	6,326	

事業コスト	区 分(単位:千円)		27年度	28年度	29年度	成果目標の達成状況						
	予算額	前年度繰越				項目	H26末	H27末	H28			H29 目標
		当初予算	6,226	9,713	6,326				目標	成果	達成状況	
		補正予算	25,417			災害医療研修会の参加者数	—	—	120名	61名	未達成	—
		合計(A)	31,643	9,713	6,326	中部ブロックDMAT実動訓練の開催	—	—	1回	1回	達成	—
	Aの財源	一般財源	5,146	7,998	4,578	長野県DMAT登録者数	—	—	320人	323人	達成	385人
		県 債	0									
		国庫支出金	13,788	1,705	1,728							
		その他	12,709	10	20							
	決 算 額(B)		28,896	6,720								
	概 算 人件費	職員数(人)	1.00	1.00	1.00							
		概算人件費(C)	8,276	7,914	7,914							
概算事業費(B(A)+C)		37,172	14,634	14,240								

目標に対する成果の状況	<ul style="list-style-type: none"> 災害医療研修会については、熊本地震を取り上げ、タイムリーなテーマであったが、開催時期に日本集団災害医学会やDMAT養成研修などの災害医療に係る行事が続いたため、多くの参加を得られなかった。 中部ブロックDMAT実動訓練については、関係機関の参加により実災害を想定した連携訓練を行うことができた。また、実災害に備えた課題の抽出ができた。 長野県DMAT登録者数については、目標どおりの登録ができ、災害発生時に複数チームが初動対応できる体制が構築されつつある。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施
	<ul style="list-style-type: none"> 災害医療研修会については、広く県内の災害拠点病院の意見を聞いて時期や研修テーマを設定するなど、より効果的な研修の実施ができるよう関係機関との調整を図っていく。 長野県DMAT登録者数については、より多くのチーム編成ができるよう、研修への参加について関係機関との調整を図っていく。